

みやの 青少協だより

宮野地区青少年健全育成連絡協議会

〒753-0011

山口市宮野下 3054 宮野地域交流センター内

TEL 928-0250 FAX 928-0320

2026年2月15日号

『おにはーそとー!』

私の心の中にはどんな鬼がいるかな、とイメージしながらかいたよ。おこりんぼ鬼、泣き虫鬼、怠け鬼、豆まきをして追い払っちゃおう。

山口市立宮野幼稚園 ひまわり組 (年長)



- | | | | |
|-----|-----|------|-------|
| 山田 | 藤井 | 谷口 | 梅田 |
| やまだ | ふじい | たにくち | うめだ |
| 楓 | 環奈 | 由梅乃 | 紬生 |
| かえで | かな | ゆめの | つむぎ |
| | 前野 | 福永 | 太田黒 |
| | まえの | ふくなが | おたかくら |
| | 小春 | いろは | りょう |
| | こはる | いろは | |

「人は鏡」

地域で育む宮野の子どもたち

子どもたち

「人は鏡」「子は親の心を実演する名優である」という言葉があります。

子どもたちは、親や地域の大人の姿を想像以上によく見ており、親のやってきたことと同じ行動を自然と身につけていきます。

子どもは大人の言葉よりも、その背中や日々のふるまいから多くを学んでいるのだと感じます。

宮野地区では、地域の方々が積極的に児童に接し、登下校時の見守りや、明るい先手のあいさつを大切にしてください。

困っている児童がいれば、さりげなく声を掛け、決して怒るのではなく、相手を思いながら叱ってくれる大人の存在が、子どもたちの心に安心を与えています。

ひと昔前は「最近の子は」と、どこかネガティブなイメージで語られることもありました。しかし近頃は、「最近の子は自分からあい

さつができる」「人の話をよく聞ける」「思いやりをもって行動できる」と、良いイメージへと確実に変わってきました。

自分が小学生の時、果たしてこんなにも地域の中で人と関わり、行動できていただろうかと振り返ると、今の子どもたちの姿に驚かされます。

児童が集える場づくりや、地区の運動会をはじめとした行事を通じて、地域の結びつきは強まり、安全安心な宮野地区が育まれています。

「今日は最良の一日」

この言葉を胸に、希望は心の太陽であることを大切にしながら、子どもたちの成長に寄り添い、大人一人ひとりができる関わりを積み重ね、子どもたちが明るく朗らかに成長していく地域であり続けたいと願っています。

宮野小学校 PTA

会長 松原 史好

夢が決まらなかった自分を大きく変える一歩

皆さんは何か夢を持っていますか。漫画家、カメラマン、花屋さん、YouTuber、獣医さん。これらは昔の僕があこがれた職業です。しかし、昔の僕はこのあこがれをすべてあきらめてしまいました。理由は、自分に才能が無いと感じたからです。

僕は絵が上手に描けず、写真も常にきれいに撮れるわけではありませんでした。みなさんは「それくらいなら大丈夫」と思われるかも知れませんが、僕は失敗することを恐れてしまいました。憧れた職業をあきらめるくらい、その恐怖はおおきなものでした。

しかし、人間は失敗することによって強くなります。失敗して悲しみを繰り返して成功することが大切だと知りました。今の自分は挑戦もせず、に失敗を怖がって逃げた人です。だから僕は、これからはたくさんの事に挑戦して行きたいです。失敗して、

失敗してその先にある成功をめざしたいです。誰しも一歩踏み出すのは怖くて大変かも知れませんが、その一歩で人生が変わるかも知れないので、僕はその一歩を頑張りたいと思います。

宮野中学校

一年 丸岡 眺



今の自分を振り返って

今年は何年ですか。馬(午)は元気に走る姿が印象的で、前向きな意味を持つ年だと聞きました。私はその言葉が今の自分に少し合っているように感じています。なぜなら、私は中学二年生として、学校生活の中でたくさん経験をしてきたからです。

私はテニス部に所属していて、キャプテンを務めています。キャプテンになったばかりの頃は、どう声をかけてよいのか分からず、不安になることもありました。しかし、部員一人一人と話すことを意識するようになり、少しずつ自分から動けるようになりました。

また、総務委員長としての活動もしています。学校のために考えて行動することとは大変ですが、みんなで協力して仕事を進める楽しさを感じました。自分の意見を伝えるだけでなく、周りの話を聞くことの大切さも学びました。

この経験を通して、私は自分一人で頑張るだけでは

なく、周り協力することが大切だと感じました。テニス部でも委員会でも、うまくいかないときは一人で悩んでしまうこともありましたが、仲間と相談したり意見を聞いたりすることで、気持ちが楽になり、前向きに行動できるようになりました。

また、失敗したときにどう向き合うかも大切だと思いません。思うようにいかないことがあっても、そこであきらめるのではなく、次にどうすればよいかを考

えることで、少しずつ成長できると感じています。これからも学校生活の中で、一つ一つの経験を大切にしながら、自分なりに努力を続けていきたいです。

宮野中学校

二年 白川 怜彩



先人の言葉(詩)

出発する若ものへ

君よ行け 勇んで行け
出発の時が来たのだ
君には 素晴らしい身体と 未来に羽ばたく 若さがある

君よ行け 勇んで行け
どんなに辛いことが起こっても 君には 不屈に立ち上がる力と 未来を築く 若さがある

君よ行け 勇んで行け
出発の時が来たのだ
君のもつ若さを大切に 強く明るく進んで行くのだ

大きく大きく伸びて
君の花を咲かして行くのだ

『中・高生のための「人間の生き方」より』

あいさつと
笑顔で
ひろげよう
宮野の輪

で行動することです。中学校になると環境が大きく変わります。新しい校舎に新しい教科。小学校にはない体験がたくさん待っています。そういった新しい環境では、まず自分で考えて行動しないと慣れることはできないし、楽しさも味わえません。自分から、率先して動いて、たくさんいろいろなことを学んでいきたいです。そのためには、絶えず何が大切か考えて動いていきたいと思えます。小学校で学んだことを中学校でもしっかりと発揮できるようにがんばりたいです。

今年、小学生のゴールでもあり、新しいスタートです。この特別な年を悔いが残らないようにしていきます。

宮野小学校

六年

林 花音



最高の思い出

「こんなの演奏できるわけがない」

私は、音楽会が来る度に、毎年こう思っていた。何度練習しても、なかなか演奏できない自分に腹が立つ時もあった。それでも私は音楽会が好きだ。

一・二年生のころはコ罗纳禍で音楽会がなく、三年生の時にはマスクで合唱をした。私は音楽会ができなくてとても悲しかった。四年生になるとようやく、みんなと合奏、合唱ができるようになり、とてもうれしかった。特に、六年生の時の音楽会。あこがれのアコーディオンで演奏することができてうれしかった。アコーディオンは、たくさん練習するとかたが痛くなるほど重かった。家を持って帰る事ができないため、少しでもできるようになろうと、楽譜を何度も見直して記憶した。最初は、どうやって演奏するのか、このパートはどのように演奏したらいいのかなど、全く分からなかった。でも、あき

らめず何度も練習することでみんなと楽しい最後の音楽会にすることができた。私は、とても温かい気持ちになった。

家で練習していた時、何度もあきらめかけたことがある。一生懸命楽譜を見ても、自分が思うように演奏できなかった。しかし、学校で、みんなと合わせてみたり、同じ楽器の友達と練習したりすることでだんだん自信がついてきた。このおかげで、自信を持って演奏することができ、最高の思い出にすることができた。そして、私はこの音楽会から努力することが大切だと学んだ。

私は、宮野小学校で音楽会ができてうれしかった。私にとつて、今までの音楽会は最高の思い出となった。

宮野小学校

六年

青木 紗英



なりたい自分

昨年は、新しい自分に挑戦した一年でした。バスケットボール部でキャプテンを任せられ、生徒会執行部にも入りました。でも、正直に言うと「成長した」と胸を張って言えるほどではありません。

うまく動けず、何をしたらいいかわからないまま一日が終わることもありました。周りとは比べてしまい、「自分には向いていないのかな」と考えることもありました。

それでも、先生が何気なくかけてくれた一言や、同じように悩みながら頑張っている仲間の姿を見ると、「もう少しやってみよう」「もう少しやってみよう」「あきらめずに挑戦しよう」と思えました。

進路についても、まだはつきりと決まっていまません。まずは、目の前のごとを一つ一つ一生懸命、丁寧に努力することで、それが先につながることを信じ、苦手なことにも挑戦していきたいです。

また、今年は胸を張って

「成長した」と言えるように、逃げずに挑戦し続け、自分の弱さとも向き合っていきたいです。

宮野中学校

二年

帯刀 莉子



小鳥の私が宮野へ感謝

「燕雀いずくんぞ鴻鵠の志を知らん也」私が大学の恩師にいただいた言葉です。燕雀(えんじゃく)とは、小さな鳥のことです。小鳥はあまり高いところを飛ばしません。一方鴻鵠(こうこく)とは大きな鳥のことです。大きな鳥は高いところを飛ぶことができます。つまり「低い場所しか飛んでいない小鳥たちには、高い場所を飛ぶ大きな鳥たちがどんな景色を見ていて、どんなことを思っているのか、考えも及ばない」という直訳になります。つまり「何かを目指して頑張っているときに、周囲から非難や反対意見を言ってくるような者がいても、その人たちにあなたの志は読み取れないので気にすることは無い」という意味になるのだと思います。

最近では、ネット社会の発達で、コメントや好評価といった「相手を評価する」場面が多くなってきました。TVのワイドショーでもコメントーターが、当人の苦

悩や本意をどこまで理解しているかわかりませんが、さも知っているとコメントをしています。他人を批評することは、少し慎重に行うべきだと思います。

私が宮野中に赴任して2年が過ぎました。私は小鳥ですから、多くの支え無くしては、今日までやってこれませんでした。他人を批判することなく、他人に感謝しながら、堅実に足下を見て、今後も頑張っていきたいと思えます。気がついたら、自分の飛んでいる高度が少し高くなっているかも知れませんが、小鳥の私にも、お世話になった宮野へ何か恩返しをしていきたいと思えます。

宮野中学校

教頭 酒井 一嘉



私の将来の夢

私の将来の夢は、看護師です。人の役に立ちたいという思いからこの夢を持つようになりまし。看護師になるために私は三つのことを頑張りたいと思っています。

一つ目は、勉強です。看護師になるためには、国家試験に合格する必要があります。医療に関する多くの知識も必要です。私はこの六年間で多くのことを学びました。学んだ中には、難しく分らない所もありました。中学生になったらもっと勉強が難しくなりそうです。だから分らなかつた所も分かるようになるために周りの友達に聞いて分かるようにしていきたいです。二つ目は、患者さんの気持ちに寄りそえるように、コミュニケーションをとれるようになりたいです。不安そうな患者さんがいても安心させてあげたいからです。私は、初めて会った人と話すことが苦手で、なかなか話すことができません。しかし、看護師になったら

初対面でも恥ずかしがらずに話さなければいけません。そのために、これからは初対面の人にも勇気を出して自分から話しかけられるようにしたいです。

三つ目は、明るく元気でいることです。疲れた顔をしていたら、患者さんには不安になると思います。看護師の仕事は、体力が必要で、日頃から規則正しい生活を心がけ、睡眠時間を十分とったり一日三食バランスの良い食事をとったりして健康な体をつくりたいと思います。

私は、もうすぐ小学校卒業の日をむかえます。中学校でも、看護師になるという夢に向かって、この三つを心がけて生活していきたいです。努力を続け、いつか人の役に立てるような立派な看護師になります。

宮野小学校

六年 田中 瑠海



私たちの二〇二六年

二〇二六年は、私たちにとって特別な年となります。小学校を卒業し、中学校に入学するからです。この年を私は、精一杯大切にすることをしていきたいです。そのため、二つのことをがんばります。

一つ目は、人とのつながりを大切にすることです。私がこの六年間、成長できたのも、たくさんの方の支えがあったからです。地域の方が毎朝、私たちの登校を見守ってくださいました。おかげで、私たちは、安心して学校に行くことができました。クラブでは、いろいろな昔の遊びを教えてくださいました。一緒に遊んでくださったりました。米づくりの体験や、しめなわづくりなど、ふだん体験できないことも経験させてくださいました。そのおかげで、新しくたくさんの方のことを学びました。今年もたくさんの方のつながりを大切にしたいです。たくさんの方のつながりのおかげで、二つ目は、自分から進ん